

令和6年度 安城市行政改革審議会(外部評価) 次第

令和6年11月18日(月)
午後1時30分～午後4時10分
災害対策本部室

- 1 経営管理課長あいさつ
- 2 外部評価の進め方について
- 3 外部評価
 - (1)青少年の家施設管理運営事
 - (2)多文化共生・国際交流推進事業
- 4 意見交換・振り返り



外部評価の進め方について (1事業50分)



①担当課による事業説明(10分)

- ・「事業評価シート」に基づきご説明します。

②委員の皆さまと担当課職員との質疑(25分)

- ・担当課からの説明を踏まえ、質疑応答を行い議論を深めていただきます。
- ・質疑応答中も評価シートのご記入を進めていただいて結構です。

③必要性や有効性等の観点から、事業を評価(15分)

- ・評価シートをご記入いただきます(3分)
評価にあたっては、委員の皆様が評価しやすいよう「対象事業の論点に対する評価区分について」を作成しましたので、参考にしてください。
➡3分経過後に、評価シート①、②のうち、評価シート①を回収します。
- ・評価に関するご意見をお伺いします(10分)
- ・評価結果の発表を行います(2分)

2



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

評価の視点

評価視点	必要性	行政関与の必要性、初期事業目的の達成状況、総合計画や市民ニーズとの関連性
	有効性	目標に対する進捗状況
	効率性	目的及び目標に対する事業実施方法の適正化、事務の効率化・簡素化
	公平性	事業規模及びサービス水準の適正化、受益と負担のバランス

評価区分（「対象事業の論点に対する評価区分について」をご参照ください）

評価区分	内 容
拡充	事業規模（事業量、予算、人員）を拡大し、事業内容を大幅に充実させるもの
要改善	事業規模または事業内容は継続するが改善する必要があるもの※
現行どおり	事業規模または事業内容を維持・継続するもの
縮小	事業規模または事業内容を減らすもの
廃止	事業を廃止するもの

※実施主体の見直し、事業の手法・内容の一部見直し等

3



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

【当日配布資料】 評価シート①（評価結果集計用）

R6.11.18

令和6年度 安城市行政改革審議会（外部評価）

評価シート①

委員名	〇〇 〇〇
事業№	3
事業名	青少年の家施設管理運営事務
評価 該当するものに〇印	拡充 ・ 要改善 ・ 現行どおり ・ 縮小 ・ 廃止

・評価シート①は評価結果集計のため、評価シート記入開始から3分経過後に回収します。



【当日配布資料】 評価シート②(評価コメント記入用)

R6.11.18

令和6年度 安城市行政改革審議会(外部評価)

評価シート②

委員名	〇〇 〇〇
事業№	3
事業名	青少年の家施設管理運営事務
評価 該当するものに〇印 《評価コメント》	拡充 ・ 要改善 ・ 現行どおり ・ 縮小 ・ 廃止
・評価理由をご記入 ください。	
・具体的な取組や方 法等がありましたら ご記入ください。	
事業をより効果的に 行うためのアイデア がございましたら、 ご記入ください。	

市側の説明について該当するものに〇印をつけてください。

事業説明は分かりやすかったですか。	分かりやすい ・ 普通 ・ 分かりにくい
質疑応答では、回答は明快でしたか。	明快である ・ 普通 ・ 明快でない

運営その他、お気づきの点がございましたらご記入ください。

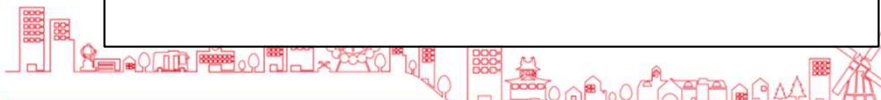
外部評価終了後、この評価シートは机の上に置いたままお帰りください。

・評価シート②へ、評価結果に加えて評価コメントのご記入をお願いします。

・質疑応答の時間中も、適宜ご記入いただいて結構です。

・点線より下にアンケートがございますので、ご協力をお願いします。

・外部評価終了後、評価シート②は、机の上に置いたままお帰りください。



【当日配布資料】 対象事業の論点に対する評価区分について

対象事業の論点に対する評価区分について

事業番号	3	事業名	青少年の家施設管理運営事務
------	---	-----	---------------

論点	共同宿泊や青少年事業の執務場所は、施設の改修、機能移転に合わせて廃止をしたい。 青少年が余暇の充実を図れたり、趣味や仲間づくりを期待できる講座は、まちの中心で交通アクセスがよく、また全市的な事業として他の年代の生涯学習事業と一体的に効率よく事務ができる文化センターにて事業を展開したいがどうか。
----	--

評価区分	評価イメージ※1	市の自己評価※2
拡充	青少年の家は、共同の宿泊体験や体験活動が可能な場として青少年育成に重要な意義を有し、こうした機能を有する施設は県内で希少性が高いことから、今後も広く青少年に活用されるよう施設を改修し、現在の機能の他、利用者のニーズに沿った機能を整備することを検討する。	
要改善	青少年育成に重要な意義を有する青少年事業をさらに充実させるには、規模や形態を時代に合わせる必要があることから、他の年代向けの生涯学習事業と一体的に効率よく事務ができる文化センターへ移転する。一方、現在の施設は、年代を問わず、広く市民が使用できる施設への改修を検討する。	○
現行どおり	青少年の家は、共同での宿泊体験や体験活動が可能な場として青少年育成に重要な意義を有することから、施設を改修し、引き続き現在の機能を維持する。	
縮小	青少年事業は、青少年育成のさらなる充実を図るため、他の年代の生涯学習事業と一体的に効率よく事務ができる文化センターに移転し、宿泊機能については廃止する。一方、現在の施設は、次の用途が決まるまで老朽化を補う程度の補修を検討する。	
廃止	青少年の余暇の充実や仲間づくりの機会は、年代を問わず一般的な生涯学習事業の中でも可能であるから、廃止する。また、現在の施設は老朽化が著しいことから取り壊しを検討する。	

【上記表の説明】

評価イメージ※1	論点に対する評価区分の例を表しています。
市の自己評価※2	市の提案内容を5つの評価区分に分けた場合に該当する評価を表しています。

・各事業における、論点に対する評価区分のイメージを記載しております。評価の際の参考にしてください。